

持続可能なパーム油の調達に向けて、 小規模パーム農園支援を開始

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、社長:横手喜一)は、持続可能なパーム油の生産を支援するため、**YAYASAN FORTASBI Indonesia**(所在地:インドネシア)が取り組む小規模パーム農園支援プロジェクトに11月12日(火)より参加します。当団体のパーム農家の生活の向上と環境保護を両立させる取り組みに賛同し、プロジェクトへの参加を決めました。パーム油のサプライチェーンの内、最上流であるパーム農園に顕在する問題解決に取り組みを拡張することで、持続可能なパーム油調達を目指します。

パーム油について

パーム油は化粧品成分にも使用される原料で、世界で最も生産量の多い植物油です。インドネシアやマレーシアの重要な産業の一つである一方、農地開拓のための過剰な森林伐採がおこなわれ、気候変動や生物多様性への影響が問題となっています。特に小規模パーム農園においては、農業技術や産業知識の不足による不安定な生産活動や劣悪な労働環境、児童労働、地域住民との紛争など、さまざまな問題を抱えています。ポーラ・オルビスグループは持続可能なパーム認証油への切り替えに加え、サプライチェーン上流も含め、問題を把握し、適切に対処することが重要と考えます。

YAYASAN FORTASBI Indonesia の小規模パーム農園支援プロジェクトとは

インドネシアのスマトラ島ではパーム農地開拓による森林減少と、それに伴い森を追われたアジアゾウなどの野生動物が農園に入ることによって発生する被害が問題の一つとなっています。そこで本プロジェクトでは、木の根が深く水辺の護岸に適した樹木の植林による河川保護や、人とゾウとの衝突緩和に向けたプログラム実施による動物保護を行います。また、女性雇用創出に向けてナレッジの共有を行い、持続可能なコミュニティ形成支援にも取り組みます。



➤ポーラ・オルビスグループ環境方針
<https://www.po-holdings.co.jp/csr/environmental/consideration/>
 ➤持続可能なパーム油に関する方針
<https://www.po-holdings.co.jp/csr/environmental/diversity/>

今後も、全てのステークホルダーや地球・社会環境と誠実に向き合い、安心・安全で透明性ある化粧品を提供してまいります。

【報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
 広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp
 ※在宅勤務を推奨しておりますので、お電話が繋がらない場合はメールにてお問い合わせください。